

片岡英樹氏が開発した「書くレトリック」のメリットとは

片岡英樹氏が開発した「書くレトリック」は、特に技術的内容で明確な文章作成を必要とするビジネスおよび技術コミュニケーションの分野で、多大なメリットをもたらしています。以下にその具体的なメリットを詳しく説明します。

1. 明確で一貫性のある表現

- one word = one meaning®(一語・一義/一義・一語)の原則に基づき、同じ用語が一貫して同じ意味で使われるようにすることで、読み手が混乱せず、文章全体の理解が深まります。これにより、技術文書やビジネス文書での誤解や誤読のリスクが大幅に減少します。

2. 効率的なコミュニケーション

- 片岡氏の「書くレトリック」の原則に従うことで、冗長な表現を避け、簡潔かつ効果的な文章を作成することができます。これにより、読み手は短時間で要点を理解でき、コミュニケーションの効率が向上します。

3. グローバル対応

- 片岡氏の「書くレトリック」は、日本語と英語の両方で使用できるため、グローバルなビジネス環境においても適用可能です。特に外国人が日本語の技術・ビジネス文書を理解しやすくなる点で、国際的なコミュニケーションを支援します。

4. 読み手に対する説得力強化

- 片岡氏が提唱する「3C+1E」(Clear, Compact, Correct + Emphasis)の原則により、明確で簡潔、正確な文章に説得力を加えることができます。この構造は、技術的な正確さを保ちながら、読み手に対して強い印象を残すことが可能です。

5. 体系的な文章作成ガイド

- 片岡氏の「書くレトリック」は、技術文書やビジネス文書の作成において、ステップバイステップによる体系的なガイドラインを提供します(→片岡英樹氏の「パラグラフのABC構成」)。これにより、初心者でも効果的に文章を作成できるようになり、経験者にとっても再確認や改善の基盤となります。

6. 多様な応用性

- 片岡氏の「書くレトリック」は、技術文書に限らず、あらゆる形式の文章に応用可能です。たとえば、メール、報告書、提案書、マーケティング資料、およびプレゼンテーションなど、ビジネスの多くの場面でその効果を発揮します。

7. 教育的価値

- この概念は、教育現場でも非常に有用です。学生や新入社員に対する文章作成の指導において、片岡氏の「書くレトリック」の原則を教えることで、早期に質の高い文章力を養うことができます。

8. 専門知識共有の容易さ

- 専門的な内容を扱う文章において、複雑な概念や技術的な情報を明確かつ理解しやすい形で伝えることができます。これにより、専門知識を持たない読み手にも内容が伝わりやすくなり、知識の共有がスムーズになります。技術者同士のコミュニケーションだけでなく、非専門家との連携にも役立ちます。

9. 組織全体の文書の品質向上

- 片岡氏の「書くレトリック」を組織全体で導入することで、文書作成の統一基準が確立されます。これにより、異なる部署やチームが作成する文書でも、一貫性と高い品質が保たれます。組織全体の文書品質が向上し、内部および外部に対する信頼性が高まります。

10. 問題解決能力の強化

- 片岡氏の「書くレトリック」は、論理的な構成を重視するため、問題解決のプロセスを明確にしやすくなります。たとえば、原因と結果の関係を明確に示すこ

とができ、問題解決のための提案や結論がより説得力を持つようになります。
これにより、複雑な問題でも効率的かつ効果的に対処することが可能です。

片岡英樹氏の「書くレトリック」は、単なる技術ではなく、コミュニケーションの質を高めるための戦略的なツールです。これにより、文章作成がより明確で効果的になり、グローバルな環境でも強力な武器となる点で、非常に価値が高いと言えます。

注 1) one word = one meaning®(一語・一義/一義・一語)は片岡英樹氏の登録商標です。

注 2) ここで片岡氏が提唱する「3C+1E」(Clear, Compact, Correct + Emphasis)の原則の 3C の“Correct”は、Clear, Compact の内容に含まれることから、現在は”Coherent”(一貫性)に変更、修正されている。すなわち、「3C+1E」(Clear, Compact, Coherent + Emphasis)の原則である。

(参考文献)

- ・片岡英樹著『研究者・技術者に必須の「効果的技術英文の組み立て方～テクニカル・ライティング練習帳～」』(溶接学会誌 第 71 巻 (2002 年) 月刊誌 6回連載)
- ・片岡英樹著『読み手の心を捉える！英文テクニカルライティング』(日刊工業新聞社 2016 年)
- ・片岡英樹著『英文テクニカルライティング 読み手の心を動かすレトリック入門』(日刊工業新聞社 2018 年)